

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-366463

(43)Date of publication of application : 20.12.2002

(51)Int.Cl.

G06F 13/00

G06F 15/02

G06F 17/60

G06K 9/00

(21)Application number : 2001-177389

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 12.06.2001

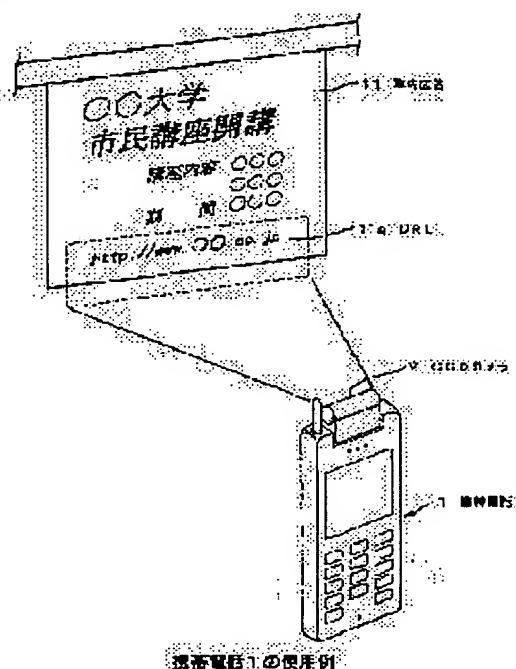
(72)Inventor : MASUDA AKIRA  
ABE YOSHITAKA

## (54) PORTABLE TERMINAL AND ADVERTISING SYSTEM

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily read a home page whose URL (Uniform Resource Locator) is displayed at advertisements without performing any troublesome work.

**SOLUTION:** A portable terminal 1 is provided with an image pickup means 2, an extracting means for extracting a character string indicating a URL from a picture picked up by the image pickup means 2, and a means for storing information indicating the character string extracted by the extracting means. Then, advertisements 11 where an URL 11a is displayed are picked up by the image pickup means 2 by using the portable terminal 1.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-366463  
(P2002-366463A)

(43) 公開日 平成14年12月20日 (2002. 12. 20)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 13/00	5 1 0	G 0 6 F 13/00	5 1 0 C 5 B 0 1 9
	5 4 0		5 4 0 P 5 B 0 6 4
15/02	3 1 0	15/02	3 1 0 Z
	3 4 5		3 4 5 Z
17/60	3 2 6	17/60	3 2 6

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 12 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-177389(P2001-177389)

(22) 出願日 平成13年6月12日(2001. 6. 12)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 増田 彰

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ  
ー株式会社内

(72) 発明者 阿部 義孝

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ  
ー株式会社内

(74) 代理人 100080883

弁理士 松隈 秀盛

Fターム(参考) 5B019 DB08 GA10 HE18 JA10

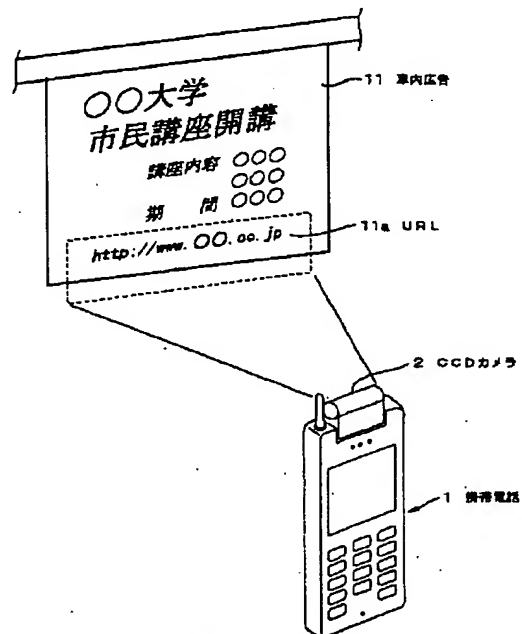
5B064 AA07

(54) 【発明の名称】 携帯端末及び広告システム

(57) 【要約】

【課題】 広告にURLが表示されているホームページを、面倒な作業を行うことなく簡単に閲覧できるようにする。

【解決手段】 撮像手段2と、撮像手段2で撮影された画像から、URLを表す文字列を抽出する抽出手段と、この抽出手段で抽出された文字列を示す情報を記憶する手段とを備えた携帯端末1を使用して、URL 11aが表示されている広告11を撮像手段2で撮影する。



携帯電話1の使用例

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】 撮像手段と、

前記撮像手段で撮影された画像から、ホームページアドレスを表す文字列を抽出する抽出手段と、  
前記抽出手段で抽出された文字列を示す情報を記憶する手段とを備えたことを特徴とする携帯端末。

## 【請求項 2】 請求項 1 に記載の携帯端末において、

前記抽出手段は、

前記撮像手段で撮影された画像から、連続する所定文字数の文字列を文字認識する処理と、

前記所定文字数の文字列が、ホームページアドレスの先頭部分に特有の文字列を含むか否かを判断する処理と、  
前記特有の文字列を含むことを条件として、前記画像から、前記特有の文字列に後続する文字列を認識する処理と、

前記特有の文字列に前記後続する文字列を付加して、ホームページアドレスを表す文字列を決定する処理とを行うことを特徴とする携帯端末。

## 【請求項 3】 請求項 1 または 2 に記載の携帯端末において、

前記抽出手段で抽出されたホームページアドレスの文字列を示すキャラクタデータを作成する手段と、

前記キャラクタデータを可視的に表示する手段をさらに備えたことを特徴とする携帯端末。

## 【請求項 4】 それぞれホームページアドレスが表示された複数の広告と、

各々の前記広告にホームページアドレスが表示されたホームページとして、該広告の内容自体に関する事項が掲載されたページをトップページとするホームページをそれぞれ開設する WWW サーバーと、

撮像手段と、該撮像手段で撮影された画像から、ホームページアドレスを表す文字列を抽出する抽出手段と、該抽出手段で抽出された文字列を示す情報を記憶する手段とを備えた携帯端末とを含んだことを特徴とする広告システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、広告にホームページアドレスが表示されているホームページを簡単に閲覧できるようにするための携帯端末及び広告システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】今日、電車やバスの車内広告や、屋内外の看板広告や、雑誌に掲載される広告や、テレビに画面表示される広告などにおいて、広告主である企業や団体がインターネット上に開設しているホームページのアドレス (URL) が表示されることが多くなっている。

【0003】従来、こうした広告を見てホームページを閲覧しようとする者は、広告に表示されている URL を、手書きでメモするか、あるいは、携帯電話や PDA

(携帯情報端末) やパーソナルコンピュータにキー操作で入力していた。

【0004】また従来、こうした広告に表示される URL は、広告の内容自体に関する事項が掲載されているホームページの URL ではなく、広告主である企業や団体が開設しているホームページのうちのトップページの URL であることが多かった。(本明細書では、Web ページ全体をホームページと呼び、Web ページのうちの最初のページをトップページと呼ぶ。)

10 【0005】例えば、クラシックコンサートの広告では、そのコンサートの出演者や日程や入場料が掲載されたホームページの URL ではなく、そのコンサートの会場となるコンサートホールが開設しているホームページのうちのトップページの URL が表示され、また例えば、電気製品の広告では、広告されている電気製品の構成や仕様が掲載されているホームページの URL ではなく、その電気製品を製造するメーカーが開設しているホームページのうちのトップページの URL が表示されるといった具合である。

20 【0006】その理由の 1 つとしては、広告の内容自体に関する事項が掲載されたホームページの URL は、企業や団体のトップページの URL の後にさらに長く文字が続くことが多い (例えば、メーカーのトップページの URL が 'http://www. ○○. co. jp' であるとする、と、広告している電気製品の構成や仕様が掲載されたホームページの URL は 'http://www. ○○. co. jp/○○/○○/○○. html' になってしまう) ので、広告の中で表示するとスペースを多くとってしまう (同じスペースで表示しようとする文字が小さくなってしまふ) ことが挙げられる。

30 【0007】また、別の理由としては、ホームページのうちトップページ以外のページの URL は変更する (トップページの URL の後に続く文字の部分を変更する) 機会が比較的多いので、変更後にもホームページを閲覧してもらうためにはトップページの URL を表示しておいたほうがよいということも挙げられる。

【0008】したがって、こうした広告を見て広告内容自体に関する事項が掲載されたページを閲覧しようとする者は、まず企業や団体のトップページを開き、そのトップページから項目を選んで、広告内容自体に関する事項が掲載されたページにジャンプ (規模の大きい企業や団体のホームページの場合には何段階もジャンプ) して

## 【0009】

【発明が解決しようとする課題】しかし、広告に表示されている URL を手書きする作業やキー入力する作業を行うことは面倒であり、テレビに画面表示される広告の場合にはこうした作業を行う時間的余裕もない。

50 【0010】そのため、広告を見てホームページを閲覧したいと思っても、そうした作業を行わないままやり過

ごし、ホームページを閲覧できずじまいになってしまうことが少なくなかった。

【0011】また、広告内容自体に関する事項が掲載されたページだけを閲覧したい（広告主である企業や団体のトップページは特に閲覧したくない）場合には、企業や団体のトップページから項目を選んでそのページにジャンプするという作業を行うことはやはり面倒である。

【0012】本発明は、上述の点に鑑み、広告にURLが表示されているホームページを、面倒な作業を行うことなく簡単に閲覧できるようにすることを課題としてなされたものである。

【0013】

【課題を解決するための手段】この課題を解決するために、本出願人は、撮像手段と、この撮像手段で撮影された画像から、URLを表す文字列を抽出する抽出手段と、この抽出手段で抽出された文字列を示す情報を記憶する手段とを備えた携帯端末を提案する。

【0014】URLが表示されている広告を見て、そのホームページを閲覧しようとする者が、この携帯端末を使用して撮像手段でその広告を撮影すると、その撮影された画像から、そのURLを表す文字列が抽出手段によって抽出される。そして、その文字列を示す情報がこの携帯端末に記憶される。

【0015】これにより、この携帯端末に記憶された情報に基づいてホームページを閲覧する（この携帯端末自体がWWWブラウザを搭載している場合にはこの携帯端末で閲覧し、この携帯端末自体がWWWブラウザを搭載していない場合には、WWWブラウザを搭載している端末にその情報を送信してその端末で閲覧する）ことができるようになる。

【0016】このように、この携帯端末を使用すれば、広告にURLが表示されているホームページが、そのURLを手書きまたはキー入力するという面倒な作業を行うことなく、その広告を撮影するだけで簡単に閲覧できるようになる。

【0017】なお、この携帯端末の抽出手段は、一例として、撮像手段で撮影された画像から、連続する所定文字数の文字列を文字認識する処理と、この所定文字数の文字列が、URLの先頭部分に特有の文字列を含むか否かを判断する処理と、この特有の文字列を含むことを条件として、この画像から、この特有の文字列に後続する文字列を認識する処理と、この特有の文字列にこの後続する文字列を付加して、URLを表す文字列を決定する処理とを行うように構成することが好適である。

【0018】このようにURLの先頭部分に特有の文字列に着眼することにより、広告に表示されているURL以外の文字がURLと一緒に撮像手段で撮影された場合にも、それらの文字の中からURLを表す文字列だけを抽出することができるようになる。

【0019】また、この携帯端末において、一例とし

て、抽出手段で抽出されたURLの文字列を示すキャラクターデータを作成する手段と、このキャラクターデータを可視的に表示する手段をさらに備えることが好適である。

【0020】それにより、広告に表示されているURLが誤りなく抽出されて携帯端末に記憶されたかどうかを、視覚的に確認することもできるようになる。

【0021】次に本出願人は、それぞれURLが表示された複数の広告と、各々の広告にURLが表示されたホームページとして、その広告の内容自体に関する事項が掲載されたページをトップページとするホームページをそれぞれ開設するWWWサーバーと、前述の本発明に係る携帯端末とを含んだ広告システムを提案する。

【0022】この広告システムでは、それぞれURLが表示された複数の広告の各々について、その広告にURLが表示されたホームページとして、その広告の内容自体に関する事項が掲載されたページをトップページとするホームページをそれぞれ開設するWWWサーバーが設けられる。

【0023】この広告を見てホームページを閲覧しようとする者が、前述の本発明に係る携帯端末を使用して撮像手段でこの広告を撮影し、携帯端末に記憶された情報に基づいてこのWWWサーバーにアクセスすると、この広告の内容自体に関する事項が掲載されたページがトップページとして最初に開かれる。

【0024】このように、この広告システムによれば、広告にURLが表示されているホームページが、その広告を撮影するだけで簡単に閲覧できるようになり、且つ、この広告内容自体に関する事項が掲載されたページだけを閲覧したい（広告主である企業や団体のトップページは特に閲覧したくない）場合にも、企業や団体のトップページから項目を選んでそのページにジャンプするという面倒な作業を行うことなく、簡単にそのページを閲覧することができる。

【0025】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図面を用いて具体的に説明する。

【0026】最初に、本発明に係る携帯端末の具体例を説明する。図1は、本発明に係る携帯端末としての機能を持たせた携帯電話の外観の一例を示す。この携帯電話1は、ズーム機能付きのCCDカメラ2を取り付けるとともにWWWブラウザを搭載したタイプの携帯電話である。CCDカメラ2は、レンズ2aを携帯電話1の前面、上側、背面のいずれの方向に向けても撮影を行えるように回転可能に取り付けられている。

【0027】携帯電話1内において携帯電話1の全体を制御するマイクロコンピュータには、CCDカメラ2で撮影が行われたことに基づいて図2に示すような処理を実行するプログラムがインストールされている。

【0028】この処理では、最初に、CCDカメラ2で

撮影された画像を、携帯電話 1 内のメモリに記憶する（ステップ S 1）。

【0029】続いて、この画像から、文字認識アルゴリズム（望ましくは、文字や写真や図が混在した画像から、認識対象の文字を抽出することができるもの）を用いて文字認識を行うことにより、連続している（文字と文字との間に 1 文字分以上の空白が存在していない）7 文字分の文字列を探す（ステップ S 2）。そして、この文字列が見つかったか否かを判断する（ステップ S 3）。

【0030】ノーであれば、そのまま処理を終了する。他方イエスであれば、その見つかった文字列の中に、一般的に URL の先頭部分に用いられている文字列である ‘http://’ が存在するか否かを判断する（ステップ S 4）。

【0031】イエスであれば、この画像から、この文字列 ‘http://’ として認識した文字列の後に連続している文字（文字が途絶えたり 1 文字分以上の空白がある手前までの文字）を、文字認識アルゴリズムを用いて認識する（ステップ S 5）。そして、ステップ S 5 で認識した文字列の先頭に ‘http://’ を付加した文字列を、URL として決定する（ステップ S 6）。

【0032】続いて、この決定した URL を示すキャラクターデータを作成し（ステップ S 7）、そのキャラクターデータを携帯電話 1 のディスプレイに表示させる（ステップ S 8）。また、携帯電話 1 のスピーカから、URL を抽出したことを告知するための所定の音声が発生させる（ステップ S 9）。

【0033】続いて、この決定した URL を、WWW ブラウザのブックマーク機能（お気に入りの URL を登録する機能）を用いてブックマークに追加させる（ステップ S 10）。そして処理を終了する。

【0034】他方、ステップ S 4 でノーとなった場合には、みつかった文字列の中に、URL を略記する際に先頭部分に用いられている文字列である ‘www.’ を含むものが存在するか否かを認識する（ステップ S 11）。

【0035】イエスであれば、この画像から、この文字列 ‘www.’ として認識した文字列の後に連続している文字（文字が途絶えたり 1 文字分以上の空白がある手前までの文字）を、文字認識アルゴリズムを用いて認識する（ステップ S 12）。そして、ステップ S 12 で認識した文字列の先頭に ‘http://www.’ を付加した文字列を、URL として決定する（ステップ S 13）。そして前述のステップ S 7 に移る。

【0036】他方、ステップ S 11 でもノーとなった場合には、そのまま処理を終了する。

【0037】このマイクロコンピュータがこの図 2 の処理以外に実行する処理は、既存の同タイプの（CCD カメラを取り付けるとともに WWW ブラウザを搭載した）携帯電話における処理と同様である。

【0038】また、携帯電話 1 のハードウェア構成自体も、既存の同タイプの携帯電話と同様である。（ただし、CCD カメラ 2 の画素数は、CCD カメラ 2 で撮影された画像から文字を認識することを考慮して、既存の携帯電話に取り付けられる CCD カメラよりも多くすることが望ましい。）

【0039】この携帯電話 1 を、広告に URL が表示されているホームページを閲覧するために使用する方法は、次の通りである。

10 【0040】図 3 に例示するように ‘http://www. ○○.co.jp’ という URL 11a が表示されている車内広告（電車の中吊りのポスター広告）11 を見て、そのホームページを閲覧しようとする者は、携帯電話 1 を使用して、広告 11 のうちこの URL 11a が表示されている部分に CCD カメラ 2 のレンズ 2a を向け、この部分をズームして撮影する（図に破線の枠で示すあたりが画角にはいるように撮影する）。

20 【0041】すると、図 2 の処理が開始され、ステップ S 1～S 3 で文字列 ‘http://’ が認識されるので、ステップ S 4 でイエスとなる。したがって、ステップ S 5 で文字列 ‘www. ○○.co.jp’ が認識され、ステップ S 6 で文字列 ‘http://www. ○○.co.jp’ が URL として決定される。

【0042】続いて、ステップ S 7～S 9 で、図 4 に示すように ‘http://www. ○○.co.jp’ のキャラクターデータが携帯電話 1 のディスプレイに表示されるとともに、URL の抽出が終了したことを告げる音声が発せられる。

30 【0043】そして、ステップ S 10 で、URL ‘http://www. ○○.co.jp’ が携帯電話 1 の WWW ブラウザでブックマークに追加される。

【0044】これにより、携帯電話 1 の WWW ブラウザでそのホームページを閲覧することができる。

【0045】他方、図 5 に示すように ‘www. □□.co.jp’ という URL 12a が表示されている雑誌広告 12 を見て、そのホームページを閲覧しようとする者は、携帯電話 1 を使用して、広告 12 のうちこの URL 12a が表示されている部分に CCD カメラ 2 のレンズ 2a を向け、この部分をズームして撮影する（図に破線の枠で示すあたりが画角にはいるように撮影する）。

40 【0046】すると、図 2 の処理が開始され、ステップ S 1～S 3 で文字列 ‘http://’ は認識されないが文字列 ‘www.’ が認識されるので、ステップ S 4 はノーとなるがステップ S 11 でイエスとなる。したがって、ステップ S 12 で文字列 ‘□□.co.jp’ が認識され、ステップ S 13 で文字列 ‘http://www. □□.co.jp’ が URL として決定される。

50 【0047】続いて、ステップ S 7～S 9 で、図 6 に示すように ‘http://www. □□.co.jp’ のキャラクターデータが携帯電話 1 のディスプレイに表示されるとともに、

URLの抽出が終了したことを告げる音声は携帯電話1のスピーカから発生する。

【0048】そして、ステップS10で、URL 'http://www.□□.co.jp' が携帯電話1のWWWブラウザでブックマークに追加される。

【0049】これにより、携帯電話1のWWWブラウザでそのホームページを閲覧することができる。

【0050】このように、この携帯電話1を使用すれば、広告にURLが表示されているホームページが、そのURLを手書きまたはキー入力するという面倒な作業を行うことなく、その広告をCCDカメラ2で撮影するだけで簡単に閲覧可能になる。

【0051】また、URLを表す文字列を、'http://' や 'www.' といったURLの先頭部分に特有の文字列に着目して抽出するので、広告に表示されているURL以外の文字をURLと一緒にCCDカメラ2で撮影してしまった場合（例えば図3の広告11でURL11aの上側の文字 '期間○○○' も撮影してしまったとき）にも、それらの文字の中から、URLを表す文字列だけを抽出することができる。

【0052】また、抽出されたURLのキャラクタデータが携帯電話1のディスプレイに表示されるので、広告に表示されているURLが誤りなく抽出されたかどうかを視覚的に確認することもできる。（例えばURLが小さく表示されたり広告中の写真や図形と重なって表示されたりしている場合には、文字認識が正確に行われなことを原因としてURLが誤って抽出される事態が生じ得るので、そうした事態の有無を確認することができる。）

【0053】次に、本発明に係る広告システムの具体例を説明する。図7は、本発明に係る広告システムの構成要素であるWWWサーバーの一例を示す。このWWWサーバー21は、広告用ホームページの開設の受託業務を行う企業（企業Aとする）が、インターネット上に設けたものである。ここで説明する広告システムは、このWWWサーバー21と、後に図8～図11に例示するような広告と、前述の図1の携帯電話1とで構成される。

【0054】企業Aは、車内広告や看板広告や雑誌広告やテレビ広告を行おうとする企業や団体（広告主）から、広告用ホームページの開設を受託する。

【0055】そして、受託した個々の広告案件について、WWWサーバー21内にその広告専用の領域（ディレクトリ）を割り当てる。

【0056】図7には、一例として、コンサートホールを運営する団体Bから受託した○○フィルハーモニーのクラシックコンサートの広告案件にディレクトリad001を割り当て、電機メーカーCから受託したテレビジョンの広告案件にディレクトリad002を割り当て、同じ電機メーカーCから受託したパーソナルコンピュータの広告案件にディレクトリad003を割り当て、ス

スポーツ競技場を運営する団体Dから受託したプロサッカーチーム○○VS□□のサッカーの試合の広告案件にディレクトリad004を割り当てた様子を示している。

【0057】企業Aは、これらの企業や団体から、個々の広告案件について、その広告内容自体に関する事項を掲載したHTML文書をインターネット経由で送信してもらう。（あるいは、企業や団体からの委託により企業A側でこうしたHTML文書自体の作成も行ってもよい）。

10 【0058】このHTML文書の内容は、車内広告や看板広告や雑誌広告やテレビ広告などで掲載する内容をさらに詳細にしたものであってもよいし、あるいは車内広告や看板広告や雑誌広告やテレビ広告などで掲載する内容と全く同じであってもよい。

【0059】すなわち、例えばクラシックコンサートの広告において、車内広告で演奏者や会場や日時や料金を掲載する場合には、HTML文書の内容は、演奏者や会場や日時や料金を掲載するとともに演奏者のプロフィールなどを掲載するものであってもよいし、あるいは、車内

20 内広告と同じく演奏者や会場や日時や料金だけを掲載するものであってもよい。

【0060】また、例えば電機製品の広告において、車内広告で電機製品の外観を掲載するとともに製品の構成や仕様を簡略に掲載する場合には、HTML文書の内容は、製品の外観を掲載するとともに製品の構成や仕様を詳細に掲載するものであってもよいし、あるいは、車内広告と同じく製品の外観を掲載するとともに製品の構成や仕様を簡略に掲載するものであってもよい。

30 【0061】企業Aは、このHTML文書をトップページとするホームページを、WWWサーバー21内のその広告専用のディレクトリに置く。

【0062】すなわち、前述のコンサートホール運営団体Bから送信された○○フィルハーモニークラシックコンサートについてのHTML文書をトップページとするホームページを、ディレクトリad001に置く。また、前述の電機メーカーCから送信されたテレビジョンについてのHTML文書をトップページとするホームページを、ディレクトリad002に置く。また、この電機メーカーCから送信されたパーソナルコンピュータについてのHTML文書をトップページとするホームページを、ディレクトリad003に置く。また、前述のスポーツ競技場運営団体Dから送信された○○VS□□のサッカーの試合の広告案件についてのHTML文書をトップページとするホームページを、ディレクトリad004に置く。

40 【0063】これにより、WWWサーバー21のサイト名が 'www.xxx.co.jp' であるとする、団体Bの○○フィルハーモニークラシックコンサートの広告用のホームページのURLは 'http://www.xxx.co.jp/ad001' になり、メーカーCのテレビジョンの広告用のホームペー

ジのURLは 'http://www.xxx.co.jp/ad002' になり、メーカーCのパーソナルコンピュータの広告用のホームページのURLは 'http://www.xxx.co.jp/ad003' になり、団体Dの〇〇VS□□のサッカーの試合の広告用のホームページのURLは 'http://www.xxx.co.jp/ad004' になる。

【0064】企業Aは、このURLを、委託を行った企業や団体に通知する。

【0065】委託を行った企業や団体は、委託した広告案件について、この通知されたURLを表示した広告（車内広告や看板広告や雑誌広告やテレビ広告）を行おう。その際、広告を見る者が図1の携帯電話1を使用することを前提として、URLを大きく鮮明に表示する（さらに望ましくは、URLを広告中の他の写真や図や文字と重なったり近づきすぎたりしないようにして表示する）。

【0066】図8～図11は、こうした過程を経て行われた広告を例示するものである。コンサートホールの運営団体Bが行った〇〇フィルハーモニーのクラシックコンサートの広告31には、'http://www.xxx.co.jp/ad001' というURL31aが表示されている（図8）。電機メーカーCのテレビジョンの広告32には、'http://www.xxx.co.jp/ad002' というURL32aが表示されている（図9）。電機メーカーCのパーソナルコンピュータの広告33には、'http://www.xxx.co.jp/ad003' というURL33aが表示されている（図10）。スポーツ競技場運営団体Dの〇〇VS□□のサッカーの試合の広告34には、'http://www.xxx.co.jp/ad004' というURL34aが表示されている（図11）。

【0067】この広告システムにおいて、広告を見た者が、広告にURLが表示されているホームページを閲覧するまでの手順は、次の通りである。

【0068】この広告システムを構成する広告を見てホームページを閲覧しようとする者は、広告のうちURLが表示されている部分を、携帯電話1を使用して、図3や図5を用いて説明したのと同じようにして撮影する。

【0069】その際、URLが大きく鮮明に表示されているので、URLを撮影しやすくなっている。

【0070】こうして撮影を行うと、前述の図2の処理により、このURLのキャラクタデータが携帯電話1のディスプレイに表示されるとともにURLの抽出が終了したことを告げる音声（図1のスピーカ）から発生し、このURLが携帯電話1のWWWブラウザでブックマークに追加される。

【0071】この処理の際にも、大きく鮮明に表示されたURLが撮影されているので、文字認識の精度が高くなる。

【0072】このディスプレイの表示からURLが誤りなく抽出されたことを確認すると、携帯電話1のWWWブラウザで、このブックマークされたURLを選択す

る。

【0073】すると、携帯電話1からWWWサーバー21にアクセスされて、携帯電話1でホームページが開かれる。

【0074】すなわち、例えば図8の〇〇フィルハーモニークラシックコンサートの広告31を見た者がこうした手順を経た場合には、WWWサーバー21のディレクトリad001に置かれている、〇〇フィルハーモニークラシックコンサート自体に関する事項を掲載したホームページ（トップページ）が最初に開かれる。

【0075】また、例えば図9のテレビジョンの広告32を見た者がこうした手順を経た場合には、WWWサーバー21のディレクトリad002に置かれている、テレビジョン自体に関する事項を掲載したホームページ（トップページ）が最初に開かれる。

【0076】また、例えば図10のテレビジョンの広告33を見た者がこうした手順を経た場合には、WWWサーバー21のディレクトリad003に置かれている、パーソナルコンピュータ自体に関する事項を掲載したホームページ（広告32のテレビジョンと同じメーカーCの製品であるが、テレビジョンのホームページとは独立した別のトップページ）が最初に開かれる。

【0077】また、例えば図11の〇〇VS□□のサッカーの試合の広告34を見た者がこうした手順を経た場合には、WWWサーバー21のディレクトリad004に置かれている、〇〇VS□□のサッカーの試合自体に関する事項を掲載したホームページ（トップページ）が最初に開かれる。

【0078】このように、この広告システムによれば、広告にURLが表示されているホームページが、その広告を携帯電話1のCCDカメラ2で撮影するだけで簡単に閲覧できるようになり、且つ、この広告内容自体に関する事項が掲載されたページだけを閲覧したい（広告主である企業や団体のトップページは特に閲覧したくない）場合にも、企業や団体のトップページから項目を選んでそのページにジャンプするという面倒な作業を行うことなく、簡単にそのページを閲覧することができる。

【0079】なお、以上の例では、携帯電話1内のマイクロコンピュータが、広告からURLを抽出する処理として、最初に所定文字数の文字列を文字認識してその文字列の中から 'http://' や 'www.' を検索した後、それに続く文字を文字認識するという処理を行っている。しかし、別の例として、最初に全ての文字を文字認識しておいて、その後で、それらの文字の中から、先頭部分に 'http://' や 'www.' を有する文字列を検索するようにしてもよい。

【0080】また、本発明に係る携帯端末としての機能を持たせる携帯電話の外観は、図1に示したものと異なってもよいことはもちろんである。

【0081】また、以上の例では携帯電話に本発明に係

る携帯端末としての機能を持たせているが、PDA（携帯情報端末）にこの携帯端末としての機能を持たせてもよい。WWWブラウザを搭載していないPDAに本発明に係る携帯端末としての機能を持たせる場合には、例えば、広告から抽出したURLをテキストデータとしてPDA内のメモリに記憶するようにすればよい。それにより、WWWブラウザを搭載した端末（パーソナルコンピュータや携帯電話）にこのテキストデータを転送して、その端末でホームページを閲覧することができるようになる。

【0082】また、以上の例では、広告用のホームページのURLを、広告用ホームページ開設受託企業AのURLである‘http://www.xxx.co.jp’をもとにして‘http://www.xxx.co.jp/ad001’～‘http://www.xxx.co.jp/ad004’としている。しかし、別の例として、広告主である団体B、メーカーC、団体DのURLにそれぞれディレクトリとしてad001、ad002及びad003、ad004を付加したものを広告用のホームページのURLとしてもよい。

【0083】また、以上の例では、広告主とは別の企業AのWWWサーバー21に広告用のホームページを開設している。しかし、別の例として、こうした別の企業を介在させずに、広告主自身のWWWサーバーに広告用のホームページを開設するようにしてもよい。

【0084】また、本発明は、以上の例に限らず、本発明の要旨を逸脱することなく、その他様々の構成をとりうることはもちろんである。

【0085】

【発明の効果】以上のように、本発明に係る携帯端末によれば、広告にURLが表示されているホームページが、そのURLを手書きまたはキー入力するという面倒な作業を行うことなく、その広告を撮影するだけで簡単に閲覧できるようになるという効果が得られる。

【0086】また、広告に表示されているURL以外の文字がURLと一緒に撮影された場合にも、それらの文字の中からURLを表す文字列だけを抽出することができるという効果が得られる。

【図4】

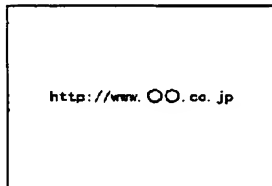


図3の広告を撮影した際の携帯電話1のディスプレイの表示

【0087】また、広告に表示されているURLが誤りなく抽出されて携帯端末に記憶されたかどうかを、視覚的に確認することができるという効果も得られる。

【0088】次に、本発明に係る広告システムによれば、広告にURLが表示されているホームページが、その広告を撮影するだけで簡単に閲覧できるようになり、且つ、この広告内容自体に関する事項が掲載されたページだけを閲覧したい（広告主である企業や団体のトップページは特に閲覧したくない）場合にも、企業や団体のトップページから項目を選んでそのページにジャンプするという面倒な作業を行うことなく、簡単にそのページを閲覧することができるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る携帯端末としての機能を持たせた携帯電話の外観の一例を示す図である。

【図2】図1の携帯電話内のマイクロコンピュータが実行する処理を示すフローチャートである。

【図3】図1の携帯電話の使用例を示す図である。

【図4】図3の広告を撮影した際の図1の携帯電話のディスプレイの表示を示す図である。

【図5】図1の携帯電話の使用例を示す図である。

【図6】図5の広告を撮影した際の図1の携帯電話のディスプレイの表示を示す図である。

【図7】本発明に係る広告システムを構成するWWWサーバーを例示する図である。

【図8】図7の団体Bが行う広告を例示する図である。

【図9】図7のメーカーCが行う広告を例示する図である。

【図10】図7のメーカーCが行う広告を例示する図である。

【図11】図7の団体Dが行う広告を例示する図である。

【符号の説明】

1 携帯電話、 2 CCDカメラ、 11、12、31～34 広告、 11a、12a、31a～34a 広告に表示されたURL、 21 WWWサーバー

【図6】

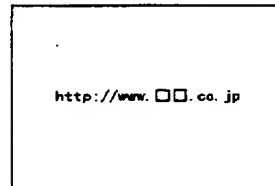
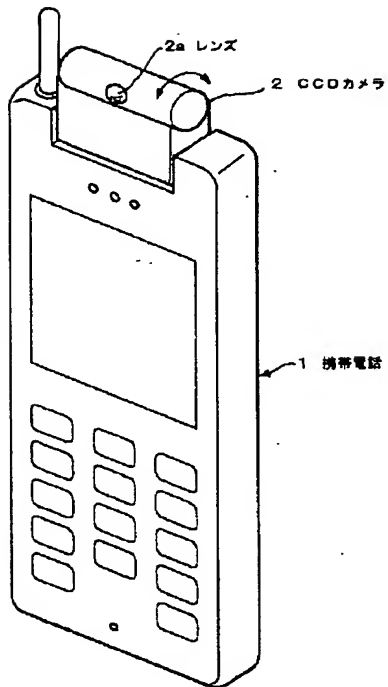


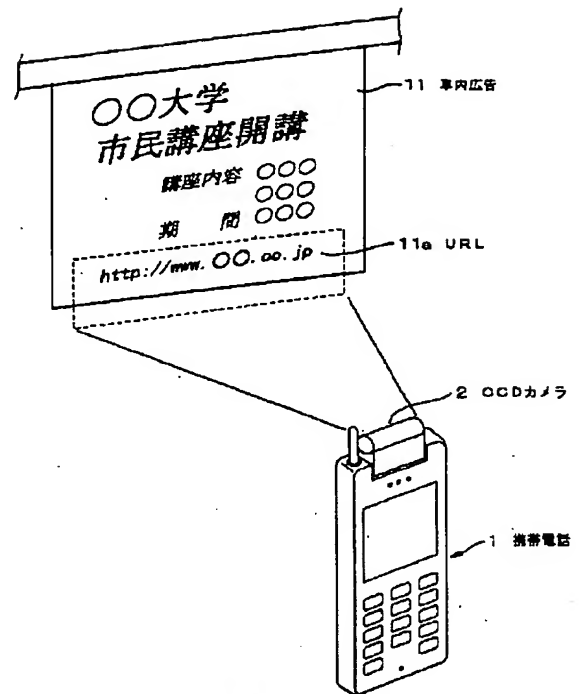
図5の広告を撮影した際の携帯電話1のディスプレイの表示



【図 1】



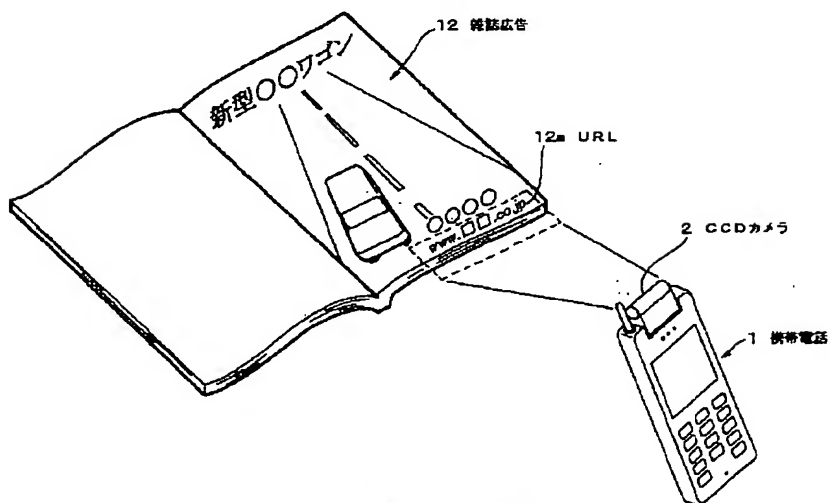
【図 3】



携帯電話 1 の使用例

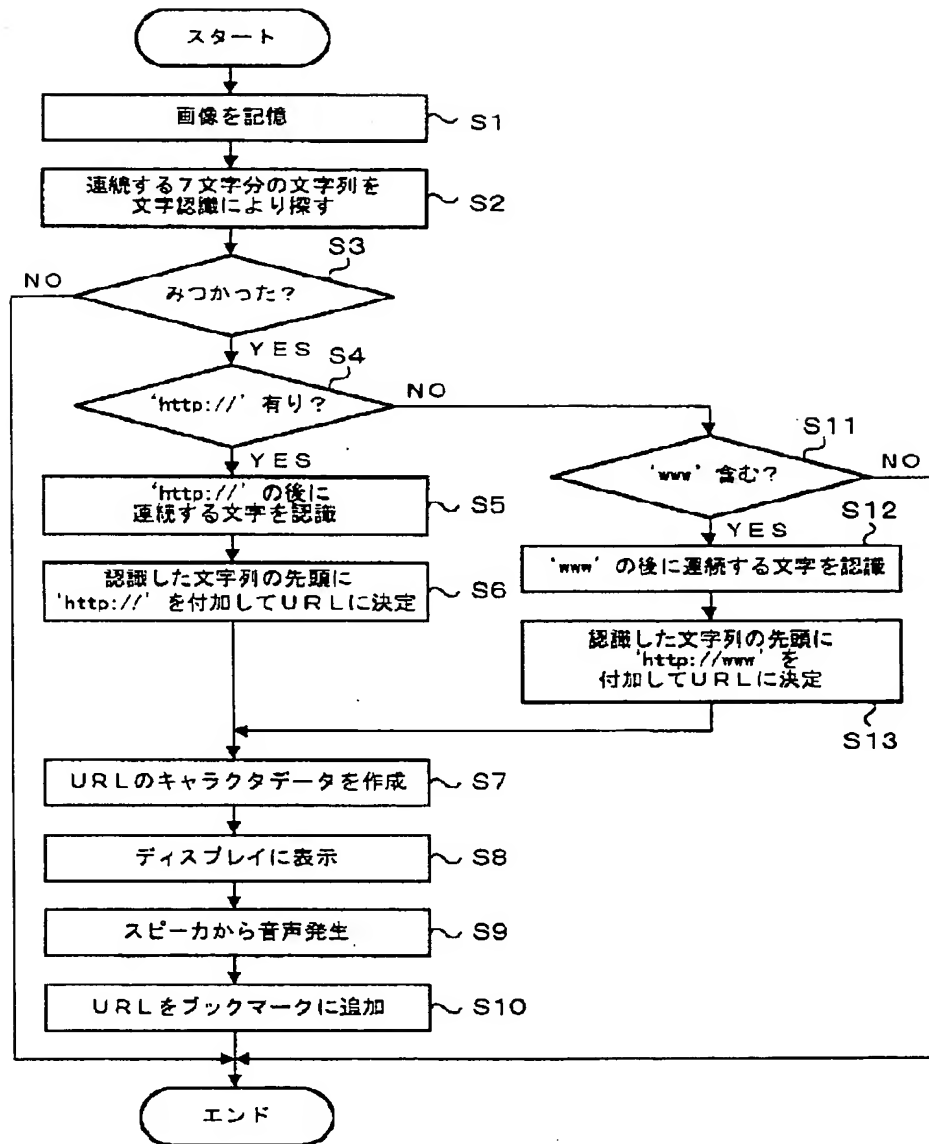
本発明の携帯端末としての機能を持たせた携帯電話の外観図

【図 5】



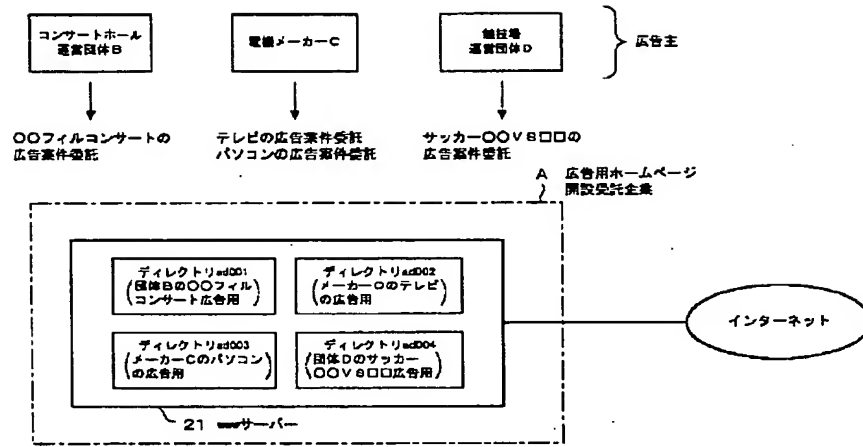
携帯電話 1 の使用例

【図2】



携帯電話1内のマイクロコンピュータの処理

【図 7】



本発明の広告システムの構成要素であるwwwサーバの例

【図 8】



図 7 の団体 B が行なう車内広告等の例

【図9】

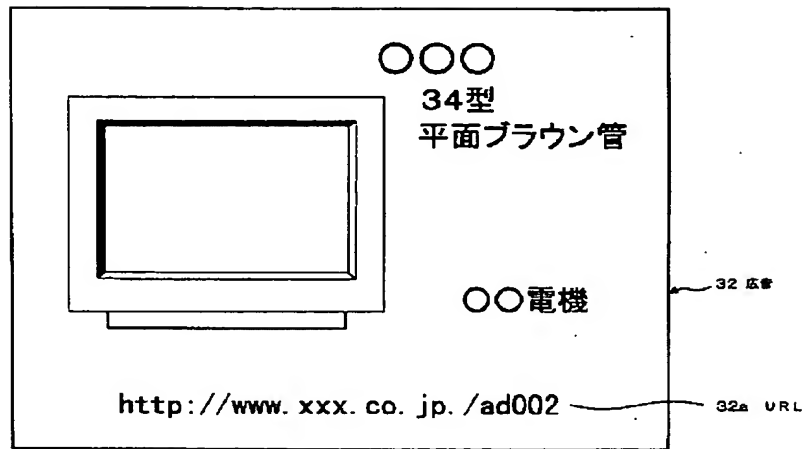


図7のメーカーCが行なう広告の例

【図10】

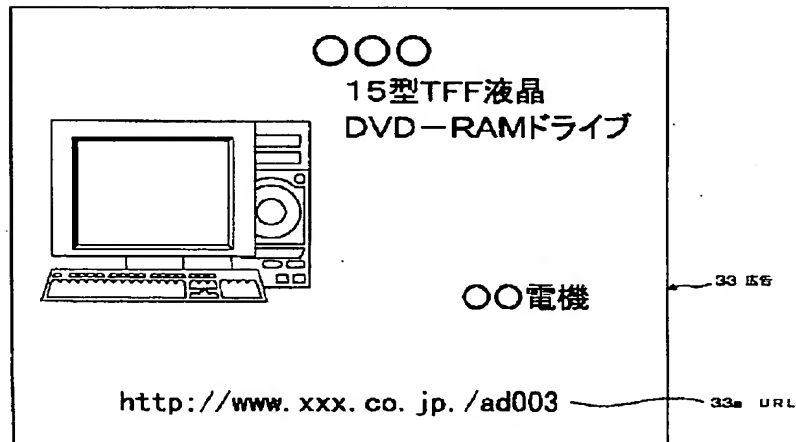


図7のメーカーCが行なう車内広告等の例

【図 11】

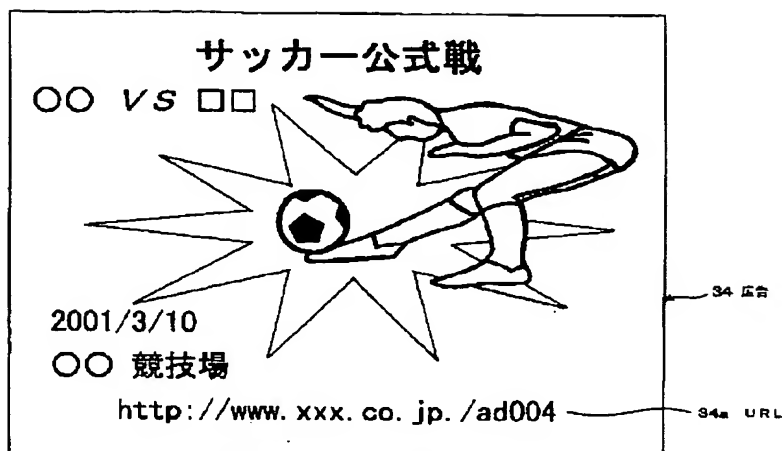


図 7 の図体 D が行なう車内広告等の例

フロントページの続き

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マコード (参考)
G 0 6 F 17/60	3 3 6	G 0 6 F 17/60	3 3 6
	5 0 4		5 0 4
	5 0 6		5 0 6
G 0 6 K 9/00		G 0 6 K 9/00	S